

chapter-13

幼い頃、太鼓を叩く姿もどことなく愛嬌があり、可愛かった美優、里紗、亜衣、裕哉の同級生四人組。昨年、高校を卒業し、それぞれの道を歩むこととなった。吉祥院天満宮の六齋奉納の舞台では、自信に満ち溢れた姿は、六齋継承人、技能保持者として頼もしささえ感じる。



A successor



●^{みゆう}美優 自分の考えをしつかり持つ行動派。プライベートでは、両親と共にバイク(Harley Davidson)3台でツーリングに出かけることもあるとか。六齋マネジメントに期待する人材。



●^{ゆうや}裕哉 抜群の運動神経！猿を演じる時など、なかなかの役者である。兄、妹とともに祖父(永田勲孝氏)の高度な太鼓技を受け継ぐ。

橋本六齋保存団体連合会長も認める正統派。太鼓技で感動を与える日もそう遠くはない。



●^{りさ}里紗 マイペースでおっとり派。しかし六齋に向き合う姿は近寄り難い。大学では臨床心理学を学ぶ。弟大悟も研究会で活動し、将来、獅子の後継人に期待する。



●^{あい}亜衣 頑張り屋さん。父木村俊典氏は吉祥院六齋保存会会長で六齋の活性化と発展に日々努力されている。80年代率先して保存活動に参加したメンバーの一人。亜衣はその熱きDNDを受け継いでいる。



六齋資料室オープン記念式典にて
亜衣・美優・里紗・裕哉(当時小2)

